

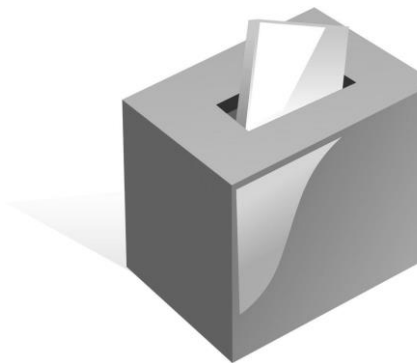
笑ってごらん

第 518 号 H. 27. 6. 23 発行

～今日のことば～

この世を動かす力は希望である。やがて成長して
果実が得られるという希望が無ければ、農夫は畑
に種をまかない。(マーティン・ルター)

◇◆参院本会議で 17 日、選挙権が与えられる年齢が 18 歳以上に引き下げられる改正公職選挙法が可決・成立し、来夏の参議院議員選挙から施行される見通しになった。参政権の拡大は 1945 年に女性参政権が保障されて以降、70 年ぶりのこと。ただ、このことによって若者の低投票率が改善される訳ではない。今後の周辺整備によって大きく変わってくるものと思われる。◆このことにより、今後、学校現場において大きく変わっていくであろうことは「政治教育」。基本的には学校に政治は持ち込まないことになっているのだが、18 歳に参政権が認められた今、そうも言っていない。高校 3 年生のクラスに有権者である者とそうでない者が混在することになる。しかも、初めての選挙を経験することになるので、わからないことだらけのはず。私達教員も一人ひとりが「有権者」であり、繰り広げられている選挙戦の論点に賛成・反対の意見を持っている。その上で、初めて選挙に臨む若葉マークの有権者に向き合い、選挙について話すことになるのであるから、その言動は偏りが無いように慎重にせねばならない。決して、自分自身の考えを押しつけてはならない。学校における「政治教育」のあり方、特に教員の政治の取り扱いにはこれまで以上に「中立性」が求められることになる。一方で、立候補者サイドも 18 歳有権者が理解できる政策を掲げる必要がある。「言ってることは理解できないけど、この人は何となく頭が良さそうだから、この人にしちやえ」的な判断がなされたり、逆に、小難しい用語や理論を振りかざして、そういう判断を期待するような選挙戦が行われてはいけな



わり易い選挙になれば、もっと投票率も上がるのではないだろうか？

感謝道

◇◆ある南さつま市民の方からご意見をいただいた。「最近、休みの日に買い物をしている生徒達の中に、ネクタイを外していたり、長い髪を束ねていなかったり、スマホの画面を見ながら歩いている生徒がいる。鳳凰高校生はきちんとしているイメージだったのに残念だ。しっかり指導した方がいいですよ」というもの。面と向かって聴いている私は大変恥ずかしくなった。と同時に、勇気を持って言いづらい苦言を呈してくださったことを有り難くも思った。◆服装容儀にしても携帯電話の使い方にしても、ルールを定めている。しかし、多くの者が「これくらいいいじゃないか」とか「(ルール違反が) 見つからなければいい」というルーズな感覚で臨めば、ルールは「なし崩し」になってしまい、学校全体の評価が下がってしまう。一部の不心得な者のせいで、真面目にルールを守っている生徒までもが「鳳凰の生徒はだらしない」と低い評価を受けることになってしまう。服装に関して言えば、現在「クールビズ」期間中である。「校内では日中ネクタイ・ベストを着用しなくても良い」との規定だが、どうも拡大解釈・勝手解釈があるようだ。携帯電話も、通学生に限り下校時の迎えを頼む連絡用として所持・校外での使用を認めているが、いただいたご意見の内容から判断すると、どうも寮生の外出時のようである。いずれのケースにおいても、便宜を図って一部認めているに過ぎない。よって、ルール違反が後を絶たない状況ならば、クールビズならびに携帯電話所持・使用を「全面禁止」せざるを得ない。そのような検討を迫られる現状が残念でならない。生徒諸君、ルール違反に対してはお互いに注意し合い、適切な状態を保てるようになって欲しい。このことは近い将来、社会のルールを守ることが出来る「責任ある大人」になる為に大切なことだ。一時的な「わがまま」や「欲」に流されないで欲しい。